

ふっこし 吹越(2)遺跡

— 縄文時代の狩猟場 —

所在地：上北郡横浜町字吹越

調査機関：青森県埋蔵文化財調査センター

調査期間：令和2年5月7日～6月26日

調査原因：県道279号横浜南バイパス道路改築事業

遺跡の概要

吹越(2)遺跡は横浜町役場から南に約7km、陸奥湾の現在の海岸線からは約1.5kmの地点にあります。吹越川によりつくられた、標高約40mの河岸段丘上に立地します。

昨年12月に行われた、国道279号横浜南バイパス道路改築事業に先立つ試掘調査で新たに確認され、登録された遺跡です。

遺構の概要

溝状土坑10基(縄文時代)を検出しました。溝状土坑は、動物を追い込み、狩りをするための落とし穴と考えられています。

検出した溝状土坑の多くは長軸が北東方向を向いていることが、確認できました。長さ約3～4m、幅約30～50cmと細長い形が多いですが、両端が膨らむ溝状土坑も見つかりました。

遺物の概要

縄文時代の石器が1点出土しました。

遺跡の特徴

溝状土坑が確認され、遺物が極めて少ないことから、本調査区の範囲は、縄文時代に狩猟場として使われていたことが判明しました。溝状土坑は今回の調査区外にもつづいていくと思われます。(齋藤 正)



長軸が北東方向を向く溝状土坑



両端が膨らむ溝状土坑